

基本政策 3

「こどもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生
～子育て日本一のまちに～

まちづくり分野	総合戦略 分野
3-1 出会い・出産支援……………	ひと
3-2 こども・子育て支援……………	
3-3 学校教育……………	

3-1

出会い・出産支援

ビジョン

結婚・妊娠・出産の希望がかなう環境づくり



現状と課題

- ライフスタイルの変化や子育てに対する負担感の増大などにより、婚姻率や出生率の低下が続いています。少子化の主な要因となる未婚化、晩婚化、晩産化の進行とこれに伴う人口減少は、地域社会の活力低下や労働力人口の減少につながり、社会が抱える大きな問題になっています。
- 婚姻数及び婚姻率は長期にわたり減少傾向にあり、その改善を図るため、結婚を希望する独身男女へ出会いの場を提供し、結婚活動を支援する必要があります。また、経済的理由により結婚に躊躇している若者への支援が求められています。
- 夫婦が妊娠や出産に向けた希望をかなえる支援を行い、出生数の増加につなげることが求められています。
- こどもを安心して産み育てることのできる環境を目指し、母子保健に関する意識の向上や健康診断の実施、相談事業の充実化といった取組が必要となっています。

基本的な方向性

- 若い世代の結婚や家庭を持つことへの希望をかなえるために、結婚を希望する独身男女へ出会いの場を提供し、結婚活動を支援します。また、結婚に伴う新生活の経済的負担を軽減するため、住居費や引越費用を支援することにより、結婚に躊躇している若者の背中を後押して婚姻数の増加につなげ、少子化対策の強化を図ります。
- 不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図り、治療を受けやすい環境づくりを推進します。
- 妊婦の口腔疾患の早期発見と生活指導を通じて、妊婦と未来のこどもの健康維持に取り組みます。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ

出会い・結婚へのサポート体制の構築

■主要な施策

▶ 出会い・結婚の支援

☞ 徳島県や関係機関との協働により、婚活イベントを開催する。

▶ 経済的な負担軽減策の実施

☞ 新婚世帯を対象に「結婚新生活支援事業補助金」を交付し、住宅取得や引越費用の一部を支援する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

結婚が地域に応援されている
と感じた世帯の割合

実績(2019)

—

現状(2023)

—

目標(2028)

80%

指標の説明

結婚新生活支援事業補助金の申請者に対するアンケート調査結果

婚姻数や婚姻率の向上には地域の温かい支えが必要になることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

総じて地域に応援されていると感じられる80%の割合を目指し、目標値を設定

この目標達成により、地域における少子化対策の強化に寄与

重点テーマ 2

充実した出産環境の構築

■主要な施策

▶不妊治療費の助成

☞不妊症の治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費に対して助成を行う。

▶妊婦歯科健診の推進

☞早期に口腔疾患を発見・治療を促進し、かかりつけ歯科医の定着につなげるとともに、口腔衛生指導及び生活指導を行う。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

妊婦歯科健診受診率

実績(2019)

—

現状(2023)

—

目標(2028)

30%

指標の説明

妊娠届出者における妊婦歯科健診受診者の割合

妊婦及び産まれてくるこどもの健康保持増進の推進の指標とするため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

妊婦及び産まれてくるこどもの健康の保持増進を目指し、目標値を設定

この目標達成により、妊婦の口腔疾患の早期発見、早期治療による早産や低出生体重児の減少に寄与

関連する個別計画

●阿南市健康増進計画

3-2 こども・子育て支援

ビジョン

誰もが安心して健やかにこどもを育てられるまちづくり



現状と課題

- 子育てへの保護者の不安を軽減するため、広報を含め、子育て支援事業の利用促進や経済的支援を通じて、より安全に安心して子育てが行える環境整備を行う必要があります。また、こどもへの虐待、ヤングケアラー、こどもの貧困などの多様な支援ニーズに対応していく相談支援、関係機関と連携した支援体制を構築し、こどもや家庭を見守り、支える必要性が増えています。
- こどもの健康の保持、増進のため、疾病等の早期発見と治療を推進するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、こどもに係る医療費の一部を助成しています。今後、自治体と医療機関等をつなぐ情報連携システム（Public Medical Hub：PMH）を導入し、マイナンバーカードを活用した医療費助成、予防接種、母子保健等のデジタル化の取組を進めていく必要があります。
- 子育て中の保護者が、こどもの発育や子育ての悩みを一人で抱え込んでしまうことがあります。子育ての不安を抱える保護者が孤立しないよう、身近で気軽に相談できる環境や支援体制を整え、妊娠から子育て期まで切れ目なく支える仕組みが求められています。
- 放課後等の児童の安全・安心な居場所づくりを引き続き推進するとともに、こどもが安心して過ごせるような多様な居場所の確保や地域の協力を得ながら、さまざまな人々と触れ合いつつ成長できるような環境づくりを行っていく必要があります。
- 公立幼稚園・保育所の老朽化及び急速な少子化が進む中、令和5年3月に策定した「阿南市教育・保育施設整備基本方針」に基づき、本市の未来を担うこどもたちへの充実した教育・保育の実現に資することができるよう、その中核を担う認定こども園の整備に向けた具体的な取組をまとめ、推進していく必要があります。
- ひとり親家庭は、経済的な負担が大きく、生活が困難な場合もあることから、ひとり親家庭が安定した生活を送ることができる支援策が求められています。特に、不安定な就労等により生活困窮に陥るリスクがあることから、安心して子育てができる環境を整えるため、生活の安定のための経済的支援や自立に向けた就労支援が重要となります。
- 貧困や虐待、不登校、教育格差など多様な課題に直面する困難な状況にあるこどもたちを支えるために、学習支援や居場所の提供、生活支援、心のケア、保護者の就労支援など包括的な支援体制が求められています。

基本的な方向性

- こども一人一人の育ちや、子育て環境の状況に応じた支援を行い、全ての子育て家庭が安心して子育てできる環境を整え、支援体制を充実させていきます。
- 全てのこどもたちが尊重され、健やかな育ちを等しく保障することができるよう社会全体（こどもがまんなか）で可能な限り支援し、「こどもの最善の利益」が実現される地域社会を目指します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ すべてのこどもと子育て家庭への支援

■主要な施策

- ▶子育て家庭への経済的支援
 - ☞こどもの医療費助成、0～2歳児の保育料・子育てのための施設等利用料と3～5歳児の給食費又は副食費の無償化など、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。
- ▶地域における子育て支援の充実
 - ☞身近な場所でこどもや子育てに関する相談・支援を受けられる環境の整備を強化する。
- ▶放課後児童クラブの環境整備
 - ☞施設の維持管理とともに、運営の最適化や保護者の負担軽減を目指し、民間委託等を含めて検討する。
- ▶「こども食堂」の活動推進（再掲）
 - ☞地域住民が主体となって展開する「こども食堂」の活動を支援し、地域コミュニティの強化を推進する。
- ▶認定こども園の整備
 - ☞公立幼稚園・保育所等の整備による認定こども園化の推進や民間活力の導入を図る。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

「阿南市は子育てがしやすいところだ」と思う保護者の割合

指標の説明

「こどもの成長と子育て支援に関するアンケート調査」項目
子育てがしやすいまちづくりが進んでいる状況を表すことから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

子育て世代の満足度を高めることを目指し、目標値を設定
この目標達成により、子育て環境の満足度が高まることによる定住意欲の向上に寄与



重点テーマ 2

多様な環境にある子どもとその家族への支援

■主要な施策

▶ひとり親家庭への支援

☞ひとり親の通院費等の一部助成、資格取得を促進するための給付金の支給による負担軽減を図るとともに、母子・父子自立支援員による相談支援を行う。

▶相談・支援体制の強化と子どもの権利擁護

☞それぞれが抱える課題やニーズに応じた支援を適切に実施し、子どもと家庭に対する包括的な支援体制を構築するとともに、子どもの権利を保護し、子どもの今とこれからの最善の利益を図る。

▶子どもの居場所の整備推進

☞地域で子どもたちが安心して過ごせる多様な居場所を整備する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

ひとり親家庭高等職業訓練
促進給付金受給者数（年間）

実績(2019)

1人

現状(2023)

2人

目標(2028)

3人

指標の説明

ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金の受給者数（年間）

ひとり親の就業機会を拡大し、キャリアアップを支援することで安定した雇用と収入の確保につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

安定した雇用と収入の確保につながることを目指し、目標値を設定
この目標達成により、ひとり親家庭の自立と生活の向上に寄与

関連する個別計画

- 阿南市地域福祉計画
- 阿南市子ども・子育て支援事業計画
- 阿南市教育振興計画

3-3

学校教育

ビジョン

一人一人が輝き生きる力を育むまちづくり

現状と課題



- 未来社会の作り手となるために必要な資質能力を育むため、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進する必要があります。また、GIGA スクール構想による ICT の利活用や個別最適な学びと協働的な学びの取組等、「確かな学び」を育む教育の推進が求められています。そのため、各校による実態に応じた特色ある学校運営が、主体的かつ円滑に実施されることが必要です。
- GIGA スクール構想の推進によるデジタル教科書の導入等により、1人1台端末の利用に伴い、学校における ICT の利活用に向けた環境整備、学習アプリ等のソフトウェアの最適化や ICT を活用した教員の指導力向上がより一層求められています。また、児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育の必要性も高まっています。
- 南海トラフ巨大地震をはじめとする震災や風水害等の災害から生命・財産等を守り、被害を最小限に抑えるために、防災教育の推進がより一層求められています。また、災害だけでなく、交通安全や不審者対応等の安全に関する意識を高め、自ら考え行動し、自分の命を自分で守る力を身につける防災・安全教育の推進が求められています。
- 近年のグローバル化や社会の変化へ対応できるよう、英語力の向上と国際理解教育の推進が必要となっています。6人の外国人講師を派遣し教育を進めていますが、学校数が多いため、訪問回数が限られています。
- 本市の自然環境、歴史や伝統芸能等の文化を学ぶことで、郷土への関心と郷土を大切に思う心の醸成を図り、次世代へ継承する担い手を育成することが求められています。
- 地域産業の特性を生かし、地元企業の魅力について理解を深める学習や職場体験の充実を図り、発達段階に応じた職業観の醸成と地域の将来を担う人材の育成が課題となっています。
- 青少年を取り巻く環境は、近年ではインターネット環境の充実、スマートフォンの普及により青少年のネット依存や SNS を介しての犯罪被害対応が後を絶たない状況にあり、この対応が喫緊の課題となっています。
- 本市の小・中学校においては、施設の老朽化が進んでいることから、建物の改修等に取り組んでいます。一方で、児童生徒数の減少による学校の再編統合も必要ですが、地域社会の枠組等に大きな影響が生じることを想定し、学校の在り方を検討する必要があります。

基本的な方向性

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図り、教育研究事業等を実施するとともに、円滑な学校運営の実施に向け、環境整備を行います。
- 地震や火災等の災害を想定したより実践的な避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室を実施することにより、こどもが「自らの命を守る」行動ができるよう支援するとともに、教職員の防災意識・危機管理能力の向上を図り、こどもの安全を確保します。
- めまぐるしく変化する社会に対応し、こどもたちがどのような状況にあっても生き抜く力（「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」）を育む教育を推進します。
- 地域や関係機関との連携しながら、本市の特色ある自然環境や産業、地域の歴史・文化を学び体験することにより、児童生徒の郷土への関心と郷土を大切に思う心の醸成を図るとともに、夢を描き、夢に向かって成長していくことができる教育を推進します。
- 行政と市民との協働を中核として学校の再編に取り組むとともに、施設の改修・改築や省エネ化・脱炭素化を行い、安全・安心で快適な教育環境の整備を推進します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ

自ら学ぶ力を育てる教育の推進

■主要な施策

- ▶確かな学びを育む教育の推進
- ▶ICTを活用した教員の指導力の向上
 - ☞ICTの環境整備を行い、研修会や授業研究会等を通して教員の指導力向上を図る。
- ▶防災・安全教育の推進
 - ☞防災・安全に対する児童生徒の知識習得と教職員の防災意識・危機管理能力の向上を図る。
- ▶外国語教育の推進
 - ☞小中学校等への外国人講師の巡回訪問指導等を行い、児童生徒の「聴く・話す」といった英語力向上と国際理解を図る。
- ▶個々のニーズに合った特別支援教育の推進
 - ☞教育支援調査員の資質能力の向上を図り、教育検査や担任・保護者との相談活動を行う。
- ▶教育支援教室の充実
 - ☞不登校児童生徒に対して、関係機関と連携し、社会的自立を目指した教育支援を推進する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

「授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている」と答えた児童生徒の割合

実績(2019)

—

現状(2023)

79.5%

目標(2028)

82.0%

指標の説明

児童生徒へのアンケート項目

「確かな学び」を育む上で、授業で学んだことを生活の中で活用しようとする児童生徒の育成が必要であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

すべての児童生徒が授業で学んだことを生活の中で活用することを目指し、目標値を設定
この目標達成により、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った、わかりやすい授業づくりに寄与

<指標名>

ICTを活用した教育によって授業が分かりやすくなったと感じる児童生徒の割合

実績(2019)

—

現状(2023)

81.4%

目標(2028)

84.0%

指標の説明

児童生徒へのアンケート項目

教員の更なる指導力向上につなげる必要があることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

すべての児童生徒がICTを活用した教育によって授業が分かりやすくなることを目指し、目標値を設定
この目標達成により、情報活用能力の向上に寄与

重点テーマ2

持続可能な地域社会の実現に向けた教育の推進

■主要な施策

▶郷土愛を育む教育の推進

☞本市の自然環境や歴史・文化等の学びを通して、郷土への関心と郷土を大切に思う心の醸成を図る。

▶キャリア教育の推進

☞地域や関係機関と連携しながら、キャリアパスポートを活用した組織的・系統的なキャリア教育の推進を図る。

▶地元企業との連携による早期職業観の醸成

☞職場体験や職場見学を通して、発達段階に応じた職業観や社会人としての基礎力の醸成を図る。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

職場体験活動や職場見学活動の実施率

実績(2019)

—

現状(2023)

—

目標(2028)

80.0%

指標の説明

市内各小中学校における職場体験活動や職場見学活動等を行った割合
発達段階に応じた職業観や社会人としての基礎力の醸成を図る上で有効な手段であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

発達段階に応じた職業観や社会人としての基礎力の醸成につなげることを目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域の将来を担う人材育成を推進し、持続性のある地域社会の形成に寄与

重点テーマ3

社会の変化に対応する青少年健全育成の推進

■主要な施策

▶青少年の健全育成に関する多角的な情報収集と発信

☞学校、警察や関係機関と連携を図り、青少年非行等に関する情報を収集し、啓発を行う。

▶相談活動の充実

☞青少年の健全育成に関する来所相談、訪問相談、電話相談、メール相談を推進する。

▶環境浄化活動の推進

☞青少年に悪影響を与える可能性の高い図書・DVD・ポスター等を店舗立入調査や巡回パトロールにより早期発見に努め、青少年の取り巻く環境の浄化を推進する。

▶学校・地域関係機関等との連携強化

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

情報発信や啓発活動の実施
回数（年間）

実績(2019)

—

現状(2023)

29回

目標(2028)

36回

指標の説明

センターが実施する青少年健全育成のための広報等の情報発信や啓発活動の年間実施回数
情報発信や啓発活動により青少年の健全育成意識が向上することから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

情報発信や啓発活動により青少年の健全育成意識向上を目指し、目標値を設定
この目標達成により、青少年にとって安全・安心な社会環境づくりに寄与

重点テーマ4

安全で安心して学べる教育環境の整備

■主要な施策

▶ 学校グラウンド照明設備のLED化

▶ 学校照明設備のLED化

☞ 学校施設の照明設備のLED化を推進し、学習環境の向上及び照明の使用電力を抑制し、省エネ化・脱炭素化を目指す。

▶ 小中学校屋内運動場の空調整備

☞ 体育館の空調を整備し、運動環境の向上を図るとともに、避難所としての機能向上を図る。

▶ 老朽化した学校施設の改修・改築

▶ 魅力ある新しい学校づくりに向けた小中学校再編の推進

☞ 魅力や特色のある学校づくりのための環境や通学手段等の整備を行い、再編統合についての合意形成を図る。

▶ 学校教育の情報化の推進

☞ タブレット端末の「普段使い」と発達段階に応じた情報モラル教育を推進する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

学校グラウンド照明LED化率

実績(2019)

—

現状(2023)

—

目標(2028)

80%

指標の説明

学校グラウンドにおけるLED照明の整備率

学校グラウンドにおけるLED照明設備の整備状況を把握できることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

利用者の安全・安心で快適な利用環境を目指し、目標値を設定

この目標達成により、こどもや市民がスポーツに親しめる環境を整え、脱炭素社会の実現に寄与

<指標名>

学校照明設備 LED 化率

実績(2019)

0%

現状(2023)

0%

目標(2028)

100%

指標の説明

小中学校（休校中除く）ごとの LED 照明設備の整備率

学校施設における LED 照明設備の整備状況を把握できることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

2027 年末に蛍光灯の製造が禁止されるため、全ての照明設備の LED 化を目指し、目標値を設定

この目標達成により、教育環境の向上とともに照明の使用電力を抑えることによる省エネ化・脱炭素化に寄与

重点テーマ5

地場産物を活用した学校給食の推進

■主要な施策

▶ 県内産地場産物の活用

☞ 生産者や生産者団体から地場産物の情報を収集し、可能な限り学校給食に使用する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

地場産物の使用割合

実績(2019)

37.0%

現状(2023)

51.5%

目標(2028)

55.0%

指標の説明

学校給食で使用した徳島県産物の使用割合

地場産物を「生きた教材」として活用することは、食育の推進につながるため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

地場産物の使用を推進していくこととし、目標値を設定

この目標達成により、児童生徒等が地域の自然や文化、農林水産業等に関する理解を深めるとともに、生産等に携わる人々の努力や食への感謝の念を育むことに寄与

関連する個別計画

●阿南市教育振興基本計画

●阿南市立学校グラウンド照明設備 LED 化計画

●阿南市スポーツ振興計画

●阿南市立小・中学校再編基本計画

●阿南市立小・中学校再編実施計画

●阿南市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

●阿南市食育推進計画